

中山間地域の集落と企業や大学等が連携した、関係人口の創出と拡大の取組

【滋賀県】

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T 技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

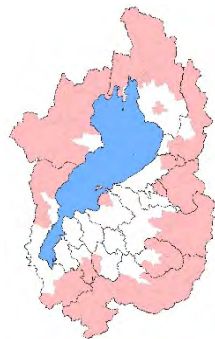
【地域の現状・課題】

- 滋賀県の耕地面積の90%以上が水田となっており、稲作が非常に盛ん。
- 高齢化・人口減少により、農業をはじめ後継者不足が深刻な課題。
(基幹農業従事者の65歳以上が占める割合：78% (令和2年度))
- 特に中山間地域では、高齢化・人口減少が顕著であり、それに伴う担い手不足や耕作放棄地の増加により、将来的に集落機能の維持が困難な地域もある。
中山間地域の高齢化率 H12年:20%→R2年:33%
中山間地域の人口 H12年から13%減少
- 農山村の持つ多面的価値を次世代に継承するため、地域資源を保全・活用する活動において、地域を牽引する役割を担うリーダーの確保が求められている。

【地域の位置】

【滋賀県】

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、離島、棚田】



：中山間地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域リーダーの発掘・育成に向けた連続講座や研修会の開催

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 中山間地域の集落を対象に、地域のビジョン作成から実践、多様な人材の参画を目的とした連続講座「さとのかぜ倶楽部」を開催し、地域資源を活用するなど高度な取組を実践できる人材の育成を図った。
- 行政職員等向けの中山間の地域づくりに必要な知識・ノウハウを習得するための研修会を開催。



連続講座（現地）

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

多様な主体との連携・協働による関係人口の創出と拡大

- 中山間地域の集落と企業や大学等との連携を推進し、多様な主体との協働活動により地域資源の保全・活用を推進した。



【しがのふるさと支え合いプロジェクト（滋賀県独自）など】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農村地域の生産基盤・集落機能の維持のための取組を下支え。
【世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策（多面的機能支払交付金）（支援事業）】
【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】



共同活動

事業の効果

協働活動を通じた農村の地域資源の継承

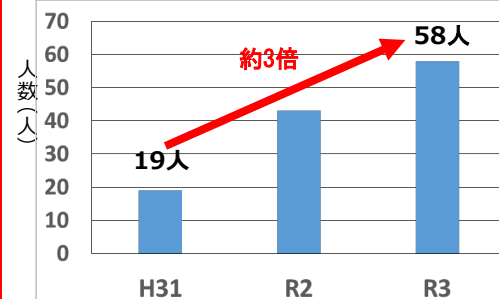
- 多様な主体と連携する集落が増加し、中山間地域が活性化した。
協働活動の取組実施数：23 (R4)



協働活動の様子

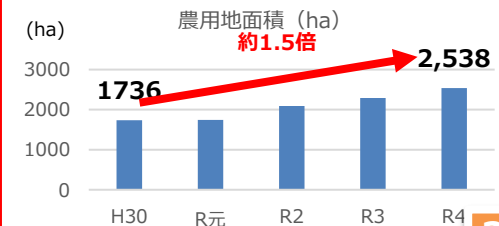
- 地域リーダーが育成された。

＜さとのかぜ倶楽部員数の推移＞



- 中山間地域で農用地が保全された面積が増加した。

中山間地域で保全された



米・そば・にんじんのブランド化と農商工連携等による地域商社づくりの取組

ことろ たがちよう
【滋賀県湖東地域】(多賀町)

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T 技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

【地域の現状・課題】

- 山間部の集落では、農業従事者の高齢化により担い手が不足。また、栽培条件の不利性（勾配、小区画等）により、生産性が低い。
- 2015年7月に多賀町特産物振興連絡協議会を設立し、「米、そば、にんじん」など特産物の高付加価値化・ブランド化に向けた検討を開始。
- さるなる所得向上を図るためには、B級品の加工を含めた6次産業化による付加価値向上や販路の拡大等に取り組むことが必要。
- 多賀スマートインターチェンジの開設（2022年予定）に併せ、各種支援事業を活用して、農業を核とした更なる産業振興を進めることが必要。
- 野生獣による農作物被害は、侵入防止柵の設置により減少しているものの、柵の不備箇所等からの侵入により、依然として被害が発生しており、更なる被害防止対策を進めることが必要。

【地域の位置】

滋賀県 湖東地域



(指定地域：特定農山村地域、振興山村等)

多賀町

【滋賀県湖東地域】(多賀町)

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域産業の活性化を目指した計画の検討

- 担い手農家への対面方式による意向調査をベースとした、自然や歴史、文化など地域産業全体が一体となって活性化を目指す「林・農・観による多賀町再生計画」の検討。
- 米のブランド化にむけ、先進農家の営農指導による品質向上と高位平準化を図った。



関係者による検討会



研修会の開催（リモート）

検討をふまえた取組

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

農産物加工施設の整備と販路開拓の推進

- 今後、農産物の高付加価値化に向け、農産物の集出荷施設や加工施設を整備予定。
- これと併せて、多賀農業のブランディング、生産・加工・流通・販売の調整、町内商工観光業者との連携、広報・販路開拓を推進する地域商社の設立を目指す。

【強い農業づくり交付金など】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域ぐるみの鳥獣被害対策による営農環境の整備

- 集落ぐるみによる鳥獣被害防止対策（侵入防止柵の補修・点検、捕獲器の導入など）を進め、サル・シカ等による農作物被害を軽減し、生産意欲の向上を図る。
- 地域資源の良好な保安全管理や条件不利地の営農支援等を推進し、安心して農業や関連事業を展開できる環境を整備し、地域を下支え。

【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

ブランド米の試作や農福連携による商品開発

- 米のブランド化の取組
2018年からブランド米作り専門家の指導を受け、現在、農家によるブランド米の試作に取り組んでいる。



都心百貨店におけるブランド米試験販売

- 未利用にんじんの活用による農福連携の取組
未利用にんじんを活用し、農家と福祉施設の連携による商品の開発に取り組んでいる。



【地域の現状・課題】

【現状】

- 京都府では、中山間地域が耕地面積の約7割と多く、集落営農組織数は増加傾向にあるが、厳しい経営状況の組織が多い
- 過疎高齢化による農業の生産力低下と農村コミュニティの衰退が懸念される

【課題】

- 中山間地域の生産力及びコミュニティの維持に向けて、省力化等が可能となるスマート技術の効果を農業者に知ってもらい、生産現場へのスマート技術の現地導入を進める必要がある

【地域の位置】

【京都府】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域や農業者に適したスマート技術を紹介

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- スマート技術に関する相談員を設置し、技術導入に係る相談や地域相談会を実施
 - ・相談員による相談会等で152人に対応
- スマート技術の普及拡大のため、実践者や開発企業との技術展示・交流会を開催
 - ・遠隔農業に関する講演及び府内事例（ドローンによるそば播種作業の実証、ラジコン草刈機の実証など）紹介
 - ・地域のニーズにマッチしたスマート技術の展示（丹後地域：水稻、果樹園芸等に活用できる機器の展示）



収穫物運搬等に活用できる多機能ロボット



自動草刈りロボット



農薬散布ドローン

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

技術導入・経営改善を支援

- 相談があった事業者について、普及センター等の京都府農業応援隊を紹介し、引き続きスマート技術の導入や経営改善に向けた伴走支援
- 府のスマート農林水産業実装チャレンジ事業によりスマート技術導入を支援

事業の効果

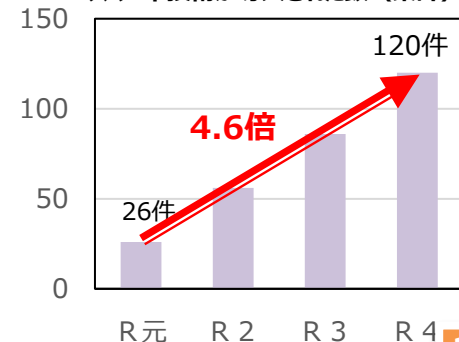
スマート技術の導入が促進

- 令和4年度は20人・団体が府のスマート農林水産業実装チャレンジ事業を活用し、直進アシストトラクタや防除用ドローン等を導入。



- 他の府補助事業でもスマート技術導入に対する申請が増えており、本事業による普及啓発への効果が認められる。

(件) <府補助事業を活用しスマート技術が導入された数（累計）>



コウノトリ育む農法による農家所得向上への取り組み

たじま
【兵庫県但馬地域】

とよおかし
【豊岡市】

元気な地域創出モデル支援

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値
・販売力強化

関係人口
の増加

ICT技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 豊岡市の農業は水稻栽培が中心
- 高齢化・人口減少により、農業後継者不足が深刻な課題
60歳以上の基幹的農業従事者割合90%
70歳以上の基幹的農業従事者割合66%
(2020農業センサス)
- 高齢化から一斉にリタイアすることが考えられ、受け皿としての集落営農組織や認定農業者の育成、スマート農業による省力化、経営費のコスト低減が必要
- 高付加価値のコウノトリ育む農法による米の生産拡大を図ることで農家所得向上を図ることが必要

【地域の位置】

【兵庫県豊岡市】

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

コウノトリ育む農法拡大に向けた調査

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 区画整備やICTの活用等により、生産条件の改善が行われている先進事例調査
- 農家所得の向上に向けたマーケット調査
- 省力化に向けたICTの活用などスマート農業の事例調査



農業機器展示会視察

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

高付加価値作物（コウノトリ育む農法）の導入支援

- コウノトリ育む農法アドバイザーの設置及びアドバイザーによる指導
- 情報発信によるコウノトリ育むお米の販路拡大【市単独事業】



アドバイザーによる指導会の様子



販売促進活動の様子

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

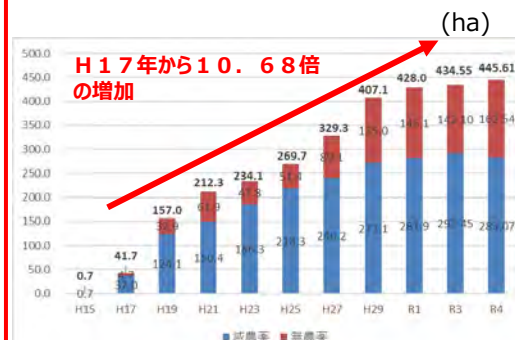
- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開
【多面的機能支払交付金（支援事業）】
【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

事業の効果

コウノトリ育む農法の栽培面積拡大

- 高付加価値作物（コウノトリ育む農法）の栽培面積の拡大

＜コウノトリ育む農法の水稲作付面積＞



コウノトリ育むお米

【地域の現状・課題】

- 県内の農村地域では、過疎化、高齢化が進み集落機能の低下、農業の衰退が課題となっている。
- 一方、地域住民による農村地域づくり活動が推進され、小規模ではあるが特色ある農産物の栽培や農産加工が手がけられている。
- それらは魅力ある地域資源として着目され、販売促進、土産物づくりへの活用が期待されているが、高齢化等により生産効率の低下や販売力の弱さが課題となっている。
- 少量多品目を生産する各地域が連携することにより、付加価値のある新たな特産品づくりに取り組み、地域活性化を図る。

【地域の位置】

【奈良県】(①奈良市、②山添村、③明日香村、④下市町、⑤下北山村)
[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源を活用した魅力ある商品づくり

【元気な地域創出モデル支援】

- 地域間の連携による農産加工
地域の農村地域づくり団体や農業者が手がける特色ある農産物から、農村地域づくり団体が農産加工としてエッセンスを抽出



レモングラス
(下市町)



ジャバラ
(下北山村)



大和橘
(明日香村)



- 商品づくり(ブランディングと販売)
奈良の農産物を使ったキャンディづくり、販売を手がける飴専門店(奈良市)と連携し、エッセンスを用いたキャンディを加工、県内5か所の直売所等で試験販売調査を実施



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

各地域で新たな商品として販売

- 地元特産農産物を使った新たな土産物として地域へ還元
- 波及効果を狙い、本地域の取組を他の地域づくり組織へ情報提供。



事業の効果

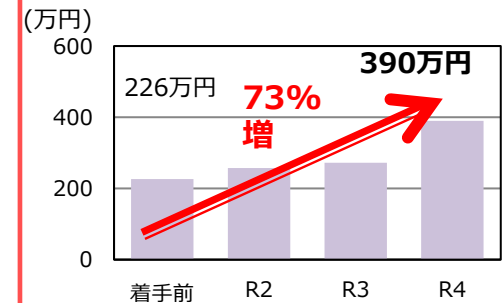
ブランディングと販売

- 販売調査によりパッケージデザイン、容量等を決定し、観光客を主なターゲットとして商品化



- 加工品の販売額が73%増加

<レモングラス加工品販売額(下市町)>



コロナ禍により販売店舗への来客数が激減したことにより、他品目の販売は伸び悩んでいるが、本事業で得られた加工技術や消費動向を今後の販売増・販路拡大に活かすべく、取組が進められている。

高野山精進野菜の生産基盤確立及びブランド化や販路拡大により 所得向上を目指す

【和歌山県伊都地域】（橋本市）

元気な地域創出モデル支援				
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用
		棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践	

【地域の現状・課題】

- 後継者不足と耕作放棄地の増加
 - ・ 高齢化・後継者不足による担い手の減少
 - ・ 農地の荒廃が進み、耕作放棄地が増加
- 特産品の育成及び連作障害対策
 - ・ ブランド農産物の不在
 - ・ 連作障害等による生産が不安定
 - ・ 安定した生産体制の整備
- 鶏糞や食品系廃棄物の処理
 - ・ 養鶏業が盛んな地域
 - ・ 鶏糞の堆肥化等の対策が必要
 - ・ 剪定枝や規格外果実、柿加工に伴う残渣、菌床処理残渣等の未利用資源の活用不足

【地域の位置】

【和歌山県伊都地域】（橋本市）
[指定地域： 半島、特定農山村、中山間等]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

高野山麓精進野菜の生産性の向上及び販路拡大

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 「高野山麓精進野菜」の3つのコンセプト「歴史・伝統」「安全・安心」「美味しさ」を備えた野菜作りの普及促進に取り組む。
具体的には、生産力向上のための土壌改良法の検証と土壌改良資材の開発。
ブランド化や販路拡大等についての検証。
- 土作り専門家の協力により、菌床残渣等を活用した土壌改良資材の開発と栽培実証のためのほ場を整備。
- 「高野山麓精進野菜」を活用した加工品の開発。
- 「高野山麓精進野菜」栽培技術の向上のための栽培マニュアルを作成。



事業完了後の展開

事業実証の成果を活用した取組

生産者の確保・土作りにより「高野山麓精進野菜」をブランド農産物へ

- 栽培マニュアルを活用した実践的な研修による生産者の確保。
- 鶏糞、マッシュルーム菌床、柿加工品残渣等の未利用資源を原料とした土壌改良資材の開発と実証ほ場での継続した取組による生産性の向上。



栽培研修会



栽培実証ほ (左 慣行栽培 右 実験栽培)

事業の効果

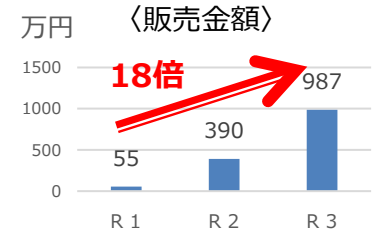
ブランド化による販売促進と生産者の確保

- ブランド化と加工品開発による販売促進



・ ふるさと納税の返礼品として登録された「野菜ピクルス」と無農薬ゴマ豆腐「極」

- 野菜等農産物販売金額の増加



- 生産基盤の確立と研修等の実施による生産者の増加

